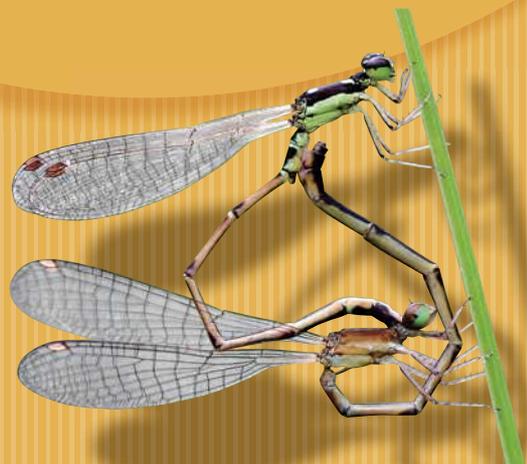


動物編
昆虫類



昆虫類の概要

1. 見直しの手順

(1) 検討体制

調査員9名、調査協力員28名からなる昆虫分科会を設置し、選定作業を行った。構成メンバーは以下のとおりである。

① 調査員

青木俊彦(担当:チョウ目ガ類)、阿部 剛(担当:チョウ目チョウ類)、五十嵐由里(担当:コウチュウ目)、郷右近勝夫(担当:ハチ目)、斎藤勝雄(担当:昆虫類全般)、斎藤雄二(担当:ゴキブリ目・バッタ目・カメムシ目・アミメカゲロウ目)、高橋雄一(担当:昆虫類全般)、牧野 周(担当:トンボ目)、溝田浩二(担当:総括)(五十音順)

② 調査協力員

新井孝明、栗野宗博、伊藤 智、梅津 晋、及川正紹、大友良和、尾崎俊寛、海原 要、喜多英人、郷原匡史、児玉雅一、小檜山裕行、紺野広昭、佐藤隆志、白坂一広、菅原 淳、鈴木晋一、中嶋正道、中瀬 潤、永幡嘉之、長谷川源、平舘 学、保坂 満、村上直樹、目崎喜治、八木沼康之、矢崎雅巳、柳田則明(五十音順)

(2) 評価対象種

昆虫類レッドリストの見直しにあたっては、環境省版レッドデータブック(2014)にならい、評価の対象となる種の条件を以下のとおりとした。

- ①種または亜種を評価の単位とする。分類上亜種に細分される場合は、原則として、亜種を評価の対象とする。
- ②海外から導入された種および国内他地域から導入された個体群は対象から除く。ただし、導入かどうかの判断が困難な場合は対象とする。
- ③潮間帯以上、または内湾および汽水域に生息する種を対象とする。

(3) 評価方法

宮城県の昆虫相については、かなり判明している分類群もある一方、多くのものではまだ不十分な段階である。今回の改訂に際して、五十嵐由里氏が中心となって宮城県内の昆虫分布記録を網羅的に収集・整理し、宮城県産昆虫類データベースを構築した。これを基盤として、データの蓄積が十分にあるチョウ類(チョウ目)およびトンボ目については定量判定を、それ以外の分類群については定性判定を行い、絶滅のおそれの度合いを判定した。具体的な選定基準は「昆虫分科会におけるレッドリスト判断基準」に示したとおりである。なお、【選定理由】欄に示したカタカナ記号は、「昆虫分科会におけるレッドリスト判断基準」に示された各評価区分に対応している(補正を行った場合は、カタカナ記号の後に①、②などと表記してある)。

注)【県内の生息状況】等の欄に示された地名は、おおむね、平成の大合併前の宮城県の旧市町村名で統一している。

2. 見直しの結果

(1) 掲載種数

今回の改訂において計214種を選定した。その内訳は以下のとおりである。

目名	種数	宮城県 RDB (2016) 掲載種数				
		EX	CR+EN	VU	NT	DD
トンボ目	23種	3	11	6	3	
ゴキブリ目	1種			1		
バッタ目	5種		1	1	2	1
カメムシ目	7種		2	1	4	
アミメカゲロウ目	4種		2	1		1
コウチュウ目	108種		5	21	41	41
ハチ目	22種		6	5	8	3
チョウ目(チョウ類)	14種	2	5	1	4	2
チョウ目(ガ類)	30種		3	2	16	9
合計9目	214種	5種	35種	39種	78種	57種

(2) 明らかになったこと

① 今回の改訂において214種〔絶滅(EX)5種、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)35種、絶滅危惧Ⅱ類(VU)39種、準絶滅危惧(NT)78種、情報不足(DD)57種〕がリストアップされ、旧版リスト(2013)から3種が増加した。分類群ごとの内訳は、コウチュウ目108種(増減なし)、チョウ目44種(1種減)、トンボ目23種(1種減)、ハチ目22種(6種増)、それ以外の昆虫類が17種(1種減)であった。今回の改訂ではハチ目の評価が進み、計9種が新たにリストに掲載されている。絶滅種(EX)は、旧版リスト(2013)と同じく、メガネサナエ、ベッコウトンボ、オオキトンボ、ミヤマシジミ、オオウラギンヒョウモンの5種がリストアップされている。

② 東日本大震災および復興事業の影響により、海岸域やその周辺に生息する種の減少が著しい。特に、水生昆虫および海浜性昆虫においてランクを上げた種、新規に選定した種が多く、深刻な状況にあることが浮き彫りとなった。たとえば、ヒヌマイトトンボ、ニッポンハナダカバチが絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)へとランクを上げたほか、マダラヤンマ、マルタンヤンマ、クロツヤハマベヅウムシ、オオモンツチバチをはじめとする6種の海浜性ハチ類などが新たにリストアップされた。また、ハマスズ、スナヨコバイ、オオウスバカゲロウ、カワラハンミョウなどの海浜性昆虫類やオオモノサシトンボは、旧版リスト(2013)から変わらず、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)にランクされたままである。

③ 絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)にランクされたカトリヤンマ、タガメ、ツノトンボ、マークオサムシ、クロガネネクイハムシ、トモンハナバチ、コウノスジガバチモドキ、ヒメシロチョウ、クロシジミ、ギンボシヒョウモン、チャマダラセセリなどは、いずれも河原、湿地、ため池、草原などの里地・里山に生息している。里地・里山に生息する種が絶滅の危機に瀕している要因として、水田やため池の減少、圃場整備による乾田化、水路のコンクリート化・暗渠化、農薬や生活排水による水質の汚染・汚濁、外来生物の侵入・増加、里山の土地利用の変化などがあげられる。

今回の選定結果は、宮城県の自然の変貌、生物多様性の急速な劣化を物語っているように思われる。宮城県内の昆虫類の生息環境は日々刻々と失われているのが現状であり、どのような保全対策を、どのような優先順位で講じるべきかを早急に検討することが不可欠である。

(執筆者：溝田浩二)

昆虫類分科会におけるレッドリスト判断基準

1. ランク判定のための信頼に足る過去(50年程度前まで)の産地についての資料があるか?

なお、資料としては、標本が現存している、または、信頼に足る公表された記録(データをともなうもの)があることを最低要件とする。

- (1) 資料が十分にある、または、過去のデータの蓄積が比較的豊富である
- ア. 過去に分布していたが既に絶滅^{*1}し、飼育系統もないと考えられる 絶滅(EX)
 - イ. 過去に分布し野外では既に絶滅^{*1}したが、飼育系統が存続している 野生絶滅(EW)
 - ー 現在も分布している 2. 「定量判定」へ
- (2) 資料が十分とはいえない、または、過去のデータの蓄積が豊富とはいえない
- ウ. 過去に分布していたが既に絶滅^{*1}し、飼育系統もないと考えられる 絶滅(EX)
 - エ. 過去に分布し野外では既に絶滅^{*1}したが、飼育系統が存続している 野生絶滅(EW)
 - ー 現在も分布している、または、現存^{*2}もしくは現存^{*2}可能性と判断される 3 「定性判定」へ
- (3) 分布している(いた)のは確かだが資料はきわめて不十分である 4. 「生息状況未詳」へ

2. 定量判定

分布の単位を、平成の大合併前の旧市区町村^{*3}(仙台市以外が70市町村、仙台市が5区、計75市区町村)とする。

その上で、各種の旧市区町村単位での現存^{*2}数と絶滅率^{*4}を環境省が示す数値基準にほぼ沿った形でカテゴリーに当てはめ、これを選定の基本とする。また、必要に応じて①、②に基づく補正を検討する。

(1) 現存^{*2}数と絶滅率^{*4}に基づく基本的なランク

- オ. 絶滅率50%以上、かつ現存数5以下 絶滅危惧I類(CR+EN)
- カ. 絶滅率20%以上、かつ現存数10以下 絶滅危惧II類(VU)
- キ. 絶滅率20%以上、かつ現存数15以下 準絶滅危惧(NT)
- ク. 上記以外(絶滅率20%未満、または現存数15超) ランク外

① 現存数や絶滅率では表せない各種の生態要素等を考慮し、上記カテゴリーの補正を行う。

② 将来の生存可能性を考慮するため、生息地の環境破壊のされやすさを考慮し、補正を行う。

なお、記録が1旧市区町村のみの種については、絶滅率にかかわらず、生態要素や生息地の環境破壊のされやすさを考慮し、必要に応じて上記カテゴリーを当てはめる。

3. 定性判定

次の(1)~(3)の全項目を検討し、総合的な判断のもとにランクを決める。

(1) 個体数の減少

- ケ. 既知のすべての産地で危機的水準にまで減少 絶滅危惧I類(CR+EN)
- コ. 大部分の産地で大幅に減少 絶滅危惧II類(VU)
- サ. 一部の産地において顕著な減少 準絶滅危惧(NT)
- シ. その他 ランク外

(2) 生息環境の悪化

- ス. 既知のすべての産地で著しく悪化 絶滅危惧I類(CR+EN)
- セ. 大部分の産地で明らかに悪化 絶滅危惧II類(VU)
- ソ. 一部の産地において顕著な悪化 準絶滅危惧(NT)
- タ. その他 ランク外

(3) 捕獲・採集の影響

- チ. 既知のすべての産地で再生産能力を上回る圧力 絶滅危惧I類(CR+EN)
- ツ. 大部分の産地で再生産能力を上回る圧力 絶滅危惧II類(VU)
- テ. 一部の産地において顕著な影響 準絶滅危惧(NT)
- ト. その他 ランク外

なお、必要に応じて①、②に基づく補正を検討する。

① 上記の項目では表せない各種の要素を考慮し、上記カテゴリーの補正を行う。

② 将来の生存可能性を考慮するため、生息地の環境破壊のされやすさを考慮し、補正を行う。

4. 生息状況未詳

- ナ. 十分な生息情報が得られれば絶滅危惧のカテゴリーにランクされる可能性が大きい種 情報不足(DD)
- ニ. その他 ランク外

※1「絶滅」の要件

1(1)にあっては過去概ね25年間以上、1(2)にあっては過去概ね50年間以上、信頼できる生息情報が得られていないこと。

※2「現存」の定義

- A. 現存 : おおむね2000年以降に生息を確認し、かつ生息環境も残されている。
- B. 現存可能性有 : おおむね2000年以降に確認されたが、記録地が不明で、生息を確認できない。または、おおむね2000年以降に生息を確認していないが、生息環境は残されていると推測される。
- C. 絶滅 : 生息環境が破壊されており、生存の可能性はない、または極めて低い。

※3 分布の単位を「旧市区町村」とした理由

分布をマクロ的にみるには、ある面積毎の分布状況をみればよい。その場合、面積の単位を小さく(=区画を多く)するほど精度は上がるが、現地調査等にかける時間等を考慮して、平成の大合併前の75市区町村を分布の単位として採用した。なお、宮城県の面積は約7,285km²であり、1区画当たりの平均面積は約97km²で、ほぼ第2次メッシュの区画面積に相当する。

※4「絶滅率」の定義

絶滅率(%) = ((記録のある旧市区町村数) - (現存する旧市区町村数)) ÷ (記録のある旧市区町村数) × 100

なお、(現存する旧市区町村数)の項では、(A. 現存) = 1, (B. 現存可能性有) = 0.5, (C. 絶滅) = 0 として算定する。

【備考】

絶滅率(%)の算出に当たり、おおむね1999年以前までに生息が確認されたが、記録地が不明なためその後生息を確認できない旧市区町村については、「旧市区町村数」から除外した。

参考文献

1. 阿部光典, 1990. 北日本におけるマルコガタノゲンゴロウの記録. *Elytra* 18(2): 281-282.
2. 阿部剛, 1995. ダムに沈むチャマダラセセリ-宮城県最南の産地-. *インセクトマップオブ宮城*2: 14-16.
3. 阿部剛, 2009. 宮城県におけるチャマダラセセリの衰退. *インセクトマップオブ宮城*31: 3-9.
4. 阿部剛, 2011. 宮城県における2010年のスカシバガの記録. *インセクトマップオブ宮城*34: 28-30.
5. 阿部剛, 2011. 宮城県版レッドデータブック掲載種の蝶類採集記録(2005~2010年). *インセクトマップオブ宮城*34: 94-97.
6. 阿部剛, 2012. 宮城県における2011年のスカシバガの記録. *インセクトマップオブ宮城*36: 62-64.
7. 阿部剛, 2013. 宮城県における2012年のスカシバガの記録. *インセクトマップオブ宮城*38: 36-38.
8. 阿部剛, 2014. 宮城県における2013年のスカシバガの記録. *インセクトマップオブ宮城*40: 35-36.
9. 阿部剛, 2014. 宮城県版レッドリスト改訂と蝶類選定種の衰亡. 日本鱗翅学会東北支部第2回例会講演要旨: 10-13, 日本鱗翅学会東北支部.
10. 阿部剛, 2015. チャマダラセセリの保全の可能性を探る. *インセクトマップオブ宮城*42: 1-7.
11. 青木俊彦, 2010. 宮城県北部の蛾類(5)後. *インセクトマップオブ宮城*33: 2, 25-59.
12. 青木俊彦, 2010. 宮城県北部の蛾類(5)前. *インセクトマップオブ宮城*32: 1, 3-26.
13. 青木俊彦, 2011. 宮城県北部の蛾類(6). *インセクトマップオブ宮城*34: 4, 31-50.
14. 青木俊彦, 2011. 宮城県北部での蝶類採集記録. *インセクトマップオブ宮城*34: 21-22.
15. 青木俊彦, 2012. 宮城県北部の蛾類(7). *インセクトマップオブ宮城*36: 2, 67-79.
16. 青木俊彦, 2013. 宮城県北部の蛾類(8). *インセクトマップオブ宮城*38: 2, 39-50.
17. 青木俊彦, 2014. 宮城県北部の蛾類(9). *インセクトマップオブ宮城*40: 11-22.
18. 青木俊彦・五十嵐由里・斎藤勝雄, 2012. 宮城県北部で採集した雑虫と甲虫の記録1. *インセクトマップオブ宮城*37: 26-33.
19. 新井孝明, 2015. エンマハバビロガムシ宮城県の記録. *インセクトマップオブ宮城*42: 94.
20. 新谷明弘, 2000. 秋田県および隣接地域のオオウラギンヒョウモン. *秋田自然史研究*40: 30-37.
21. 有川竹志, 2002. 採集記録. *インセクトマップオブ宮城*17: 68-77.
22. 浅田義邦, 1969. 沢辺のゲンジボタル. 宮城県の生物: 129-140, 日本生物教育会第24回大会仙台大会実行委員会.
23. 朝比奈正二郎, 1957. 日本の蜻蛉. *新昆虫*10: 56-62.
24. 栗野宗博, 2012. 宮城県でのエゴヒゲナガゾウムシの記録. *インセクトマップオブ宮城*36: 89.
25. 栗野宗博, 2012. 宮城県白石市におけるヒメヒロウドカミキリの採集記録. *インセクトマップオブ宮城*37: 49-50.
26. 栗野宗博, 2014. モミ材中よりムネアカナガクチキを採集. *インセクトマップオブ宮城*41: 77.
27. 栗野宗博, 2015. 金華山で採集されたカミキリムシ. *インセクトマップオブ宮城*43: 8-9.
28. 栗野宗博・中西秀明・佐藤敦・神垣匡伸, 2001. 宮城県のカミキリムシの追加報告(第1報). *月刊むし*364: 47-48.
29. Batra, S. W. T., Y. Maeta, K. Goukon and J. Onagawa, 2009. Nesting Behavior and Silk Secretion by Female Wasps from Unique Abdominal Spigots in *Psenulus carinifrons iwatai* Gussakovskij (Hymenoptera, Sphecidae). *ホシザキグリーン財団研究報告*12: 123-146.
30. 千田安男, 1972. ヒヌマイトトンボの縁紋異常. *昆虫と自然*7(5): 35.
31. 千田安男, 1972. 宮城県でヒメサナエを採集. *昆虫と自然*7(6): 29.
32. 枝重夫, 1971. イトトンボの新種. *昆虫と自然*6(8): 29.
33. Endo, T. and A. Endo, 1994. Prey selection by a spider wasp, *Batozonellus lacerticida* (Hymenoptera: Pompilidae): Effects of seasonal variation in prey species, size and density. *Ecological Research* 9: 225-235.
34. 遠藤知二・西本裕・橋本佳明・中西明徳, 2007. 兵庫県北部の砂浜海岸におけるニッポンハナダカバチの分布. *人と自然*18: 13-20.
35. 後藤淳, 1972. コシメトンボ宮城県下の記録追加. *昆虫と自然*7(6): 29.
36. 後藤淳・高橋雄一, 1978. ハネビロエソトンボ宮城県下の初記録. *昆虫と自然*13(2): 11.
37. 郷右近勝夫, 1993. 県民の森緑地環境保全地域における昆虫相. 県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書: 107-171, 宮城県.
38. 郷右近勝夫, 1998. 仙台湾海岸砂丘林におけるカリバチ相. *東北昆虫*36: 1-4.
39. 郷右近勝夫, 2000. 宮城県「県民の森」地域. 昆虫類の多様性保護のための重要地域 第2集: 24-25, 日本昆虫学会自然保護委員会.
40. 郷右近勝夫, 2006. 蒲生海岸の干潟と砂丘における訪花昆虫とそれらの季節消長. *中国昆虫*20: 51-69.
41. 郷右近勝夫, 2010. 砂浜の後退にともなう海浜性有剣ハチ類の衰退. 日本の昆虫の衰亡と保護: 174-188, 北隆館.
42. 郷右近勝夫, 2011. 宮城の希少な有剣ハチ類の記録. *インセクトマップオブ宮城*35: 7-10.
43. 郷右近勝夫, 2014. トモンハナバチの東北地方の分布および訪花性と若干の生態的知見. *東北昆虫*51: 1-4.
44. 郷右近勝夫, 2015. 阿武隈川河口北の有剣ハチ類の危機的現状. *昆虫と自然*50(3): 4-9.
45. 郷右近勝夫・郷原匡史・渡辺啓子・五十嵐由里, 2015. 宮城県産アオスジハナバチ *Nomia (Hoplonomia) incerta* Gribodoの生息状況の変遷と訪花性について. *インセクトマップオブ宮城*43: 10-13.
46. 郷右近勝夫・五十嵐由里・斎藤勝雄・高橋雄一, 2012. 南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングサイトと周辺域における大津波被災後の昆虫相について. *インセクトマップオブ宮城*36: 1, 3-21.
47. 郷右近勝夫・前田泰生, 1980. 東北地方で新たに分布が記録されたハキリバチ類. *東北昆虫*18: 12.
48. 郷右近勝夫・松本秀明, 2010. 砂浜侵食と動植物. *昆虫と自然*45(10): 15-18.
49. 郷右近勝夫・氏家創平, 2004. 宮城県の有剣ハチ類相 1. スズメバチ上科の種類と分布. つねさばち2: 57-73.
50. 郷右近勝夫・渡辺義汎・高橋雄一, 1992. 一桧山・田代県自然環境保全地域における昆虫相. 一桧山・田代県自然環境保全地域学術調査報告書: 133-190, 宮城県.
51. 郷右近勝夫, 1998. 狩りバチ類. *日本動物大百科*10 昆虫III: 28-30, 平凡社.
52. Hájek, J. and M. Fikáček, 2008. A review of the genus *Satonius* (Coleoptera: Myxophaga: Torridincolidae): taxonomic revision, larval morphology, notes on wing polymorphism, and phylogenetic implications. *Acta Entomologica Musei Nationalis Pragae* 48(2): 655-676.
53. 羽田義任, 1981. 九頭竜海岸における早春のヒメハナバチ -特にエチゼン・フクイヒメハナバチの分布について. *蜂友通信*13: 6-10.
54. 羽田義任, 1982. コウノスジガバチモドキ雄の記載とニッポンジガバチモドキ雌の異常型. *蜂友通信*14: 54-56.
55. 羽田義任, 2003. ミヤギノヨコバイカリバチについて. *福井虫報*32: 11-12.
56. 早坂徹, 1996. 野鳥や哺乳動物に教わる昆虫のこと. *インセクトマップオブ宮城*4: 17.
57. 早坂徹, 1996. 宮城県におけるゲンゴロウの記録. *インセクトマップオブ宮城*4: 63.

58. 早坂徹, 1999. ハッチョウトンボの記録. インセクトマップオブ宮城11: 42.
59. 早坂徹, 1999. 仙台市でタガメを採集. インセクトマップオブ宮城11: 45.
60. 早坂徹, 1999. 斗蔵山及び周辺地域の水生昆虫. 斗蔵山周辺自然環境調査報告書: 237-257, 角田市教育委員会.
61. 平野幸彦, 1979. 宮城県産甲虫類採集目録I. 神奈川虫報56: 22-36.
62. 平野幸彦, 1979. 宮城県産甲虫類採集目録II. 神奈川虫報57: 19-31.
63. 平野幸彦, 1979. 宮城県産甲虫類採集目録III. 神奈川虫報58: 45-63.
64. 平舘学, 2010. 宮城県レッドデータブック関連種採集データ(甲虫編・1). インセクトマップオブ宮城32: 27-30.
65. 平舘学, 2010. ミスジナガクチキの追加記録. インセクトマップオブ宮城32: 107.
66. 平舘学, 2010. 熟したトマト果実に誘引されたアカマダラコガネの記録. インセクトマップオブ宮城32: 107.
67. 平舘学, 2010. スジグロボタルの2010年の記録. インセクトマップオブ宮城33: 95.
68. 平舘学, 2011. 宮城県レッドデータブック関連種採集データ(甲虫編・3). インセクトマップオブ宮城35: 61-63.
69. 平舘学, 2011. 宮城県角田市と大和町におけるタガメの記録. インセクトマップオブ宮城35: 97.
70. 平舘学, 2011. 宮城県南部におけるチシマコナガクチキの記録. インセクトマップオブ宮城35: 99.
71. 平舘学・児玉雅一・梅津晋・及川正紹, 2011. 宮城県黒川郡大和町吉田におけるエゾゲンゴロウモドキの記録. インセクトマップオブ宮城34: 101.
72. 平舘学・新井孝明・児玉雅一, 2000. 宮城県黒川郡大和町旗坂キャンプ場周辺の甲虫(1). インセクトマップオブ宮城12: 1-12.
73. 平舘学・新井孝明・児玉雅一, 2001. 宮城県黒川郡大和町丹沢旗坂キャンプ場周辺の甲虫(3). インセクトマップオブ宮城15: 3-15.
74. 保坂満, 2005. 2005年宮城県中部南部のヒメギフチョウ. インセクトマップオブ宮城23: 3-4.
75. 保坂満, 2006. 2006年宮城県中部南部のヒメギフチョウ. インセクトマップオブ宮城25: 21-22.
76. 保谷忠良, 1985. 宮城県白石市の昆虫(II). みやぎインセクト7: 1-12.
77. 保谷忠良, 1988. 宮城県名取市の昆虫(その1)半翅目. みやぎインセクト10: 10-12.
78. 保谷忠良, 1991. 宮城県昆虫分布資料6 宮城県のゲンゴロウ. 90pp.
79. 保谷忠良, 1993. 宮城県昆虫分布資料10 宮城県の脈翅類. 80pp.
80. 保谷忠良, 2007. 宮城県におけるカミキリムシの採集記録. インセクトマップオブ宮城26: 26-30.
81. 保谷忠良・堀口英樹・小野寺大史, 1990. 宮城県昆虫分布資料4 宮城県のテントウムシ. 112pp. 宮城県仙台第二高等学校生物部
82. 保谷忠良・金澤理・佐々木元幸, 1992. 宮城県昆虫分布資料7 宮城県のハムシ. 459pp. 宮城県仙台第二高等学校生物部.
83. 竇沢篤・八木秀俊・宮本和生, 1987. 網地浜の海浜性昆虫. 宮城県網地島の昆虫—仙台二高生物部合宿記—: 61-69, 宮城県仙台第二高等学校生物部.
84. 市田忠夫, 1998. 北上川下流域の興味深いカメムシ類. インセクトマップオブ宮城9: 25-27.
85. 五十嵐由里, 2003. 注目すべき甲虫類の採集記録. インセクトマップオブ宮城19: 65.
86. 五十嵐由里, 2010. 2009年合同調査で採集した昆虫類. インセクトマップオブ宮城32: 91-94.
87. 五十嵐由里, 2010. 2009年の昆虫類採集記録. インセクトマップオブ宮城33: 66-69.
88. 五十嵐由里, 2011. 宮城県の砂浜海岸で採集した昆虫類. インセクトマップオブ宮城34: 2-3, 5-12.
89. 五十嵐由里, 2011. 宮城県RDB関連種等の記録. インセクトマップオブ宮城35: 72-75.
90. 五十嵐由里, 2013. 北上川下流のキバナガミズグモムシ. インセクトマップオブ宮城38: 61-62.
91. 五十嵐由里, 2015. 宮城県色麻町産ホッケミズムシの前胸背板の斑紋について. インセクトマップオブ宮城42: 18-19
92. 五十嵐由里, 2015. 宮城の海浜性甲虫をたずねて. インセクトマップオブ宮城42: 26-32.
93. 五十嵐由里・紺野広昭(写真), 2006. 商人沼は招くよ. インセクトマップオブ宮城25: 23-25.
94. 五十嵐由里・高橋雄一. 仙台湾海浜自然環境保全地域の昆虫. 仙台湾海浜自然環境保全地域学術調査報告書:(印刷中). 宮城県.
95. Ikudome, S., 1989. A revision of the family Colletidae of Japan (Hymenoptera: Apoidea). Bulletin of the Institute of Minamikyushu Regional Science 5: 43-314.
96. 石田正明, 1966. 宮城県金華山の甲虫. 昆虫と自然1(6): 25-27.
97. 伊藤智, 1994. 故山本弘コレクション内の蜻蛉目に関するメモ. 岩手虫の会会報21: 5-12.
98. 伊藤智, 2011. 宮城県のオオモノサシトンボが受けた大津波被害. 月刊むし489: 2-3.
99. 伊藤智, 2011. 宮城県のネアカヨシヤンマの記録について. インセクトマップオブ宮城34: 4, 15.
100. 伊藤智, 2013. 震災後の宮城県内よりマルタンヤンマの記録. 月刊むし512: 44.
101. 伊藤智・中瀬潤, 2009. 大和町宮床川からゲンバイトンボ再発見. インセクトマップオブ宮城30: 1, 3.
102. 伊藤智・中瀬潤・牧野周, 2007. 宮城県産ゲンバイトンボに関する知見. Aeschna 43: 20.
103. 伊藤智・牧野周, 2009. オオセズジイトンボ・オオモノサシトンボ部会2008年度活動報告(1)オオセズジイトンボ. Pterobosca 14B: 28.
104. 伊藤智・牧野周・喜多英人, 2008. オオセズジイトンボ・オオモノサシトンボ部会 宮城県(1)オオセズジイトンボ. Pterobosca 13B: 32.
105. 岩井大輔・八木剛, 2003. 日本におけるオオルリハムシの地理的分布. 昆虫ニューシリーズ6(3): 105-110.
106. 伊沢紘生・藤田裕子・小野雄祐・齊藤祥子, 2003. 金華山と青葉山のトンボ相—その2—. 宮城教育大学環境教育研究紀要6: 39-48.
107. 伊澤就平, 1992. 仙台市近郊のクロンジミ. みやぎインセクト14: 41.
108. Jendek, E., 2007. Nineteen new *Agrilus* species from the Palaearctic and Oriental regions (Coleoptera: Buprestidae: Agrilinae). Entomological problems 37(1-2): 31-43.
109. 海原要, 2003. 2002年に確認した昆虫類. インセクトマップオブ宮城18: 61-66.
110. 海原要, 2005. 2003~2004年に確認した昆虫類. インセクトマップオブ宮城22: 1, 51-54.
111. 海原要, 2009. 2005~2008年に確認した昆虫類. インセクトマップオブ宮城30: 2, 23-32.
112. 海原要, 2009. 2009年に確認した昆虫類. インセクトマップオブ宮城31: 1, 23-29.
113. 亀井文蔵・小野泰正, 1971. 宮城県の蝶. 147pp. 宮城むしの会.
114. 亀井昭伍, 2010. ヒメギフチョウと共に—宮城県内での記録—. インセクトマップオブ宮城33: 7-11.
115. 神戸亮, 2002. 八木山のゲンジボタル. みやぎインセクト23: 54.
116. 菅間敬治ほか, 2000. 宮城・福島両県におけるヒメギフチョウの分布. 青森の蝶11(1): 23-79.
117. 菊池恭司・菊池透, 2006. 宮城県でアカガネネクイハムシを採集. 月刊むし427: 50.
118. 岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑I. 352pp., 学研教育出版.
119. 岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑II. 416pp., 学研教育出版.
120. 喜多英人, 1980. 泉市将監のトンボ. みやぎインセクト3: 1-8.
121. 喜多英人, 1982. 宮城県産トンボ3種の生態について. みやぎインセクト4: 6-10.

122. 喜多英人, 1991. 宮城県のナゴヤサナエ. 月刊むし246: 37-38.
123. 喜多英人, 2003. モートンイトンボ属の摂食行動について. みやぎ昆虫24: 16-18.
124. 喜多英人・伊藤智・牧野周, 2004. オオセズジイトンボ・オオモノサシトンボ部会 宮城県 (1)オオセズジイトンボ. *Pterobosca* 10A: 12.
125. 喜多英人・牧野周, 2002. 宮城県からマルタンヤンマ初記録. *Tombo* 44(1-4): 12.
126. 児玉雅一, 1995. 宮城県におけるタムシ2種の記録. *昆虫マップオブ宮城*3: 42.
127. 児玉雅一, 1997. 宮城県におけるカミキリムシ2種の記録. *昆虫マップオブ宮城*7: 40.
128. 児玉雅一, 1997. 宮城県におけるコホネゴミムシダマシとホネゴミムシダマシの記録. *昆虫マップオブ宮城*7: 40.
129. 児玉雅一, 2011. 宮城県のクチキマグソコガネについて. *昆虫マップオブ宮城*35: 11-12.
130. 児玉雅一, 2011. 宮城県版RDB掲載甲虫類の採集記録. *昆虫マップオブ宮城*35: 58-60.
131. 児玉雅一・吉武啓, 1995. 定義地区におけるコバナシコブスジコガネの採集例. *昆虫マップオブ宮城*2: 66.
132. 児玉雅一・保谷忠良・吉武啓, 1993. 宮城県昆虫分布資料9 宮城県のクワガタムシ. 48pp.
133. 今久志・佐藤由香, 2007. (6)昆虫類. 登米市自然環境基礎調査報告書: 140-161, 登米市.
134. 紺野広昭, 2007. 宮城県内における2007年昆虫採集記録. *昆虫マップオブ宮城*27: 5-7.
135. 紺野広昭, 2008. 宮城蔵王でギンボシヒョウモンを確認. *昆虫マップオブ宮城*29: 23.
136. 紺野広昭, 2008. 採集記録. *昆虫マップオブ宮城*29: 29-30.
137. 紺野広昭, 2009. タガメの採集記録. *昆虫マップオブ宮城*31: 40.
138. 紺野広昭, 2011. 宮城県における昆虫の記録. *昆虫マップオブ宮城*35: 24-26.
139. 紺野広昭, 2012. フチグロトゲエダシヤクの採集例. *昆虫マップオブ宮城*36: 88-89.
140. 紺野広昭, 2014. 東北地方各地の昆虫の記録. *昆虫マップオブ宮城*40: 1-10.
141. 紺野広昭, 2015. 宮城県北部地域における昆虫類3種の記録. *昆虫マップオブ宮城*42: 95.
142. 草刈広一, 1986. 蒲生海岸の昆虫—1985年の記録と他地との比較—. *東北の自然*4: 20-25.
143. 櫛田俊明・佐藤隆志, 1990. 青森県のゲンゴロウモドキ類. *Celastrina* 25: 27-37.
144. 町田祐也・町田禎之, 2014. 東日本大震災が名取川河口の昆虫等に与えた影響. *昆虫マップオブ宮城*41: 3-20.
145. 前田泰生, 1980. マイマイツツハナバチの巣の構造の補遺. *岩手蟲乃會會報*5: 1-4.
146. 前田泰生・皆木宏明, 1999. キヌゲハキリバチの巣の構造. *ホシザキグリーン財団研究報告*3: 165-172.
147. 前田泰生・宮永龍一, 1999. 日本産7種のツツハナバチ類の分布記録. *ホシザキグリーン財団研究報告*3: 141-147.
148. 横原寛・阿部學・新里達也・早川浩之・飯嶋一浩, 2004. ワシタカ類の巣で生活するアカマダラハナムグリ. *甲虫ニュース*148: 21-23.
149. 牧野周, 2001. マダラヤンマの記録. *昆虫マップオブ宮城*15: 51.
150. 牧野周, 2002. 2001年版宮城県レッドデータブックにリストされたトンボの未記録生息地について. *昆虫マップオブ宮城*16: 3-6.
151. 牧野周, 2002. ミヤマサナエとナゴヤサナエの記録. *昆虫マップオブ宮城*17: 18-19.
152. 牧野周, 2002. カラカネイトンボの新生息地の発見. *昆虫マップオブ宮城*17: 49.
153. 牧野周, 2002. 採集記録. *昆虫マップオブ宮城*17: 55-57.
154. 牧野周, 2004. 松島湾のタイリクアカネとマダラヤンマ. *昆虫マップオブ宮城*21: 2, 31.
155. 牧野周, 2009. 宮城県RDB改訂のための調査記録(2008年). *昆虫マップオブ宮城*30: 1, 20-22.
156. 牧野周, 2010. 宮城県RDB関連トンボ類の確認記録. *昆虫マップオブ宮城*32: 31-37.
157. 牧野周, 2011. 山元町でマルタンヤンマを採集. *昆虫マップオブ宮城*34: 4, 99.
158. 牧野周, 2011. 震災後の宮城県のトンボの生息状況. 月刊むし489: 5-8.
159. 牧野周・伊藤智, 2005. オオセズジイトンボ・オオモノサシトンボ部会 宮城県 (1)オオセズジイトンボ. *Pterobosca* 10B: 38-39.
160. 牧野周・伊藤智, 2007. オオセズジイトンボ・オオモノサシトンボ部会 宮城県 (1)オオセズジイトンボ. *Pterobosca* 13A: 6.
161. 牧野周・伊藤智, 2007. オオセズジイトンボ・オオモノサシトンボ部会 宮城県 (2)オオモノサシトンボ. *Pterobosca* 13A: 7.
162. 牧野周・伊藤智・中瀬潤, 2011. 網地島でハネビロエソトンボを再確認. *昆虫マップオブ宮城*34: 4, 99.
163. 牧野周・伊藤智・白坂一広・中瀬潤・喜多英人, 2011. 宮城県RDB関連トンボ類の未発表記録. *昆虫マップオブ宮城*35: 64-68.
164. 牧野周・永幡嘉之・伊藤智・中瀬潤・柳田則明, 2015. 宮城県RDB改訂版発行に関連する震災後のトンボ類の記録. *昆虫マップオブ宮城*42: 8-17.
165. 松村雄, 2008. トモンハナバチ生息場所の保全 一道路建設に伴う希少種の訪花植物及び巣場所の移転保存—. *昆虫*58: 171-178.
166. 目崎喜治, 2010. 2009年の蝶類採集記録. *昆虫マップオブ宮城*32: 103-105.
167. 三田村敏正, 1986. 宮城県におけるオオトラフトンボの記録. 月刊むし186: 42-43.
168. 三田村敏正, 2005. 福島県のカスミササキリ. *ふくしまの虫*24: 41-42.
169. 三田村敏正・横井直人, 1993. 阿武隈川流域のナゴヤサナエII. *ふくしまの虫*11: 28-29.
170. 三田村敏正・宮畑年弘・横井直人, 1992. 阿武隈川流域のナゴヤサナエ. *ふくしまの虫*10: 6-8.
171. 宮城県仙台第二高等学校生物部, 1988. 宮城県網地島における昆虫の生活. *東北の自然*1: 2-15.
172. 宮田悠平, 2009. 2008年の蝶類採集記録. *昆虫マップオブ宮城*30: 61-63.
173. 宮田悠平, 2010. 2009年度蝶類採集記録. *昆虫マップオブ宮城*32: 99-102.
174. 水情報国土データ管理センター(国土交通省), 河川環境データベース(河川水辺の国勢調査).
175. 水野谷昭三, 2009. 金華山島の自然を訪ねて フタスジカタビロハナカミキリとの出会い. *ふくしまの虫*27: 59-63.
176. 森田誠司, 1983. 宮城県名取川のミズギワゴミムシ類(ミズギワゴミムシ分布資料3). *甲虫ニュース*61: 5.
177. 森田誠司, 1985. オオキバナガミズギワゴミムシの新産地(ミズギワゴミムシ分布資料7). *甲虫ニュース*67/68: 10.
178. 村上直樹, 1988. ミヤマジミの記録. *みやぎ昆虫*10: 18.
179. 村上直樹, 2010. 2009年の蝶類採集記録. *昆虫マップオブ宮城*32: 102-103.
180. 村上直樹, 2011. 2010~2011年の蝶類他採集記録. *昆虫マップオブ宮城*34: 90-92.
181. 村上渉, 1971. コノシメトンボ宮城県に産す. *昆虫と自然*6(10): 7.
182. 室田忠男, 2001. 私のキヌゲヨコバイカリバチはミヤギノヨコバイカリバチの誤同定. *福井虫報*29: 58.
183. 永幡嘉之, 1998. 上杉博物館館蔵目録(75) 日本産シテムシ. *ファウナ・ウキタム*64: 539-545.
184. 永幡嘉之, 2011. 津波の跡を歩く(5). 月刊むし489: 22-29.
185. 永幡嘉之, 2012. 東北の自然はどこに向かうのか(1). 月刊むし499: 35-41.
186. 永井彰, 2006. 古い標本箱の中から-3 オオウラギンヒョウモンとヒメシロチョウ. *昆虫マップオブ宮城*24: 15-17.
187. 永井信, 1954. 仙台付近の蜻蛉. *IZUMI* 3(3): 9-16.

188. Nakane, T., 1995. Notes on some little-known beetles (Coleoptera) in Japan 13. 北九州の昆虫42(1): 41-46.
189. 中塩一夫, 1991. 宮城県におけるサナエトトンボ科10種およびヤンマ科2種の記録. みやぎ昆虫13: 45-46.
190. 日本直翅類学会編, 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 687pp. 北海道大学出版会.
191. 野呂田稔, 1977. 宮城県岩沼でマダラヤンマを採集. 昆虫と自然12(1): 15.
192. Ohira, H., New or Little-known Elateridae (Coleoptera) from Japan, XXXIII. Elytra 23(2): 187-193.
193. 奥村忠雄, 1966. アオスジハナバチの生態の研究. 生物研究(福井)10(1-4): 17-22, 福井大学.
194. 大野拓夫, 1998. クロマダラカメノコハムシの採集記録. インセクトマップオブ宮城8: 47.
195. 大野拓夫, 2010. フタスジカタビロハナカミキリを蔵王山麓で採集. インセクトマップオブ宮城33: 93.
196. 大野拓夫・大野岳, 1998. ルリナガクチキの採集記録. インセクトマップオブ宮城8: 48.
197. 大野拓夫・大野岳, 2003. 岩沼市でアカマダラコガネを採集. みやぎ昆虫24: 32.
198. 小野泰正(総括責任者), 1980. 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(昆虫類) 宮城県. 74pp. 環境庁.
199. 小野泰正(総括責任者), 2001. 動物編・昆虫類. 宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドデータブック—: 191-340, 宮城県環境生活部自然保護課.
200. 小野泰正, 1975. 宮城・岩手両県下における休耕田のトンボ類. 東北昆虫12: 1-2.
201. 小野泰正, 1976. 岩手県および宮城県地域のルリイトトンボについて. 東北昆虫13/14: 11-13.
202. 小野泰正, 1978. 昆虫風土記第2回 宮城県. 昆虫と自然13(12): 4-9.
203. 小野泰正, 1983. 高館・千貫山県自然環境保全地域の動物 5 昆虫類. 高館・千貫山県自然環境保全地域学術調査報告書: 84-95, 宮城県.
204. 小野泰正, 1985. 太白山県自然環境保全地域の動物 7昆虫類. 太白山県自然環境保全地域学術調査報告書: 106-115, 宮城県.
205. 小野泰正, 1992. 南三陸金華山国定公園地域の動物. 南三陸金華山国定公園学術調査報告書: 317-388, 宮城県.
206. 小野泰正・佐藤和夫, 1976. V県立自然公園船形連峰の動物相 4昆虫類. 県立自然公園船形連峰学術調査報告: 66-74, 宮城県.
207. 小野泰正・佐藤和夫, 1978. V自然公園蔵王連峰地域の動物 III昆虫類. 蔵王国定公園・県立自然公園蔵王連峰学術調査報告書: 78-97, 宮城県.
208. 小野泰正・田中完一・庄司定克・田島幸次郎・立花繁信・竹丸勝郎, 1973. 宮城県動植物分布調査報告書: 87-128, 宮城県.
209. 遅沢周亮・遅沢壮一, 2005. 黒斑消失のノシメトンボ. インセクトマップオブ宮城23: 38.
210. 遅沢壮一・周亮, 1999. オトラフトンボのメスも採集. インセクトマップオブ宮城11: 42.
211. 遅沢壮一・周亮, 2000. キトンボの記録. インセクトマップオブ宮城12: 35.
212. 遅沢壮一・周亮, 2000. オトラフトンボの坪沼以外の産地. インセクトマップオブ宮城13: 37.
213. 遅沢壮一・遼一・周亮, 1998. オトラフトンボを採集. インセクトマップオブ宮城9: 53.
214. 尾崎俊寛, 2010. 宮城県で採集した甲虫類について(1)—2009年度の記録—. Celasrina 45: 17-40.
215. 斎藤勝雄, 1985. '84シーズンをふりかえって. にらみ39: 3-16.
216. 斎藤勝雄, 1989. コバネアオイトトンボ内陸部で採集. みやぎ昆虫11: 29.
217. 斎藤勝雄, 1989. コバナムシの記録. みやぎ昆虫11: 8.
218. 斎藤勝雄, 1989. 宮城県のネクイハムシ. みやぎ昆虫11: 23.
219. 斎藤勝雄, 1989. 斗蔵山でオオゴキブリを目撃. みやぎ昆虫11: 29-30.
220. 斎藤勝雄, 1990. ジャコウホソハナカミキリ北限の記録. みやぎ昆虫12: 30.
221. 斎藤勝雄, 1990. 県内未記録のカメムシ. みやぎ昆虫12: 30.
222. 斎藤勝雄, 1991. 阿武隈北部海岸地域のトンボ. みやぎ昆虫13: 35-38.
223. 斎藤勝雄, 1991. 宮城県におけるアブクマナガゴミムシの記録. みやぎ昆虫13: 50.
224. 斎藤勝雄, 1991. キバネツノトンボを採集. みやぎ昆虫13: 51.
225. 斎藤勝雄, 1992. 宮城県産直翅類目録. にらみ47: 4-8.
226. 斎藤勝雄, 1993. クロスジカメノコハムシ宮城県の記録. みやぎ昆虫15: 35-36.
227. 斎藤勝雄, 1993. コバネアオイトトンボの記録. みやぎ昆虫15: 36.
228. 斎藤勝雄, 1993. 宮城県におけるアカマダラセンチコガネの記録. みやぎ昆虫15: 37.
229. 斎藤勝雄, 1993. 県南低地昆虫調査(仮称)について・前編. にらみ49: 13-25.
230. 斎藤勝雄, 1993. 県南低地昆虫調査(仮称)について・中編. にらみ50: 8-11.
231. 斎藤勝雄, 1993. セケ宿町横川における甲虫類の記録. みやぎ昆虫15: 32-34.
232. 斎藤勝雄, 1995. 宮城県産カミキリ目科目録. インセクトマップオブ宮城2: 41-48.
233. 斎藤勝雄, 1995. 宮城県南部におけるクロマダラカメノコハムシの記録. インセクトマップオブ宮城3: 44.
234. 斎藤勝雄, 1996. 採集記録. インセクトマップオブ宮城5: 63-65.
235. 斎藤勝雄, 1999. アリスアトキリゴミムシの採集例. インセクトマップオブ宮城10: 39.
236. 斎藤勝雄, 1999. オオメツツシンクイの採集例. インセクトマップオブ宮城10: 39.
237. 斎藤勝雄, 1999. ケスジドロマシの採集記録. インセクトマップオブ宮城10: 39.
238. 斎藤勝雄, 1999. クロマダラナガカメムシの採集例. インセクトマップオブ宮城10: 40.
239. 斎藤勝雄, 2000. シラクモゴボウゾウムシ宮城県に産す. インセクトマップオブ宮城12: 41.
240. 斎藤勝雄, 2000. 採集記録. インセクトマップオブ宮城12: 55-57.
241. 斎藤勝雄, 2007. 愛宕山緑地環境保全地域の昆虫相. 愛宕山環境保全地域学術調査報告書: 99-189, 宮城県.
242. 斎藤勝雄, 2010. 宮城県南部におけるRDB掲載種の記録(2009年度). インセクトマップオブ宮城32: 64-66.
243. 斎藤勝雄, 2012. 宮城県におけるアラメエンマコガネの記録. インセクトマップオブ宮城36: 88.
244. 斎藤勝雄・高橋雄一, 1997. 鳴子町花刈山の昆虫. インセクトマップオブ宮城6: 40-53.
245. 斎藤勝雄・高橋雄一, 1998. 仙台市青葉区塩野沢の調査記録 その2. インセクトマップオブ宮城9: 28-41.
246. 斎藤勝雄・保谷忠良, 1989. 宮城県昆虫分布資料1 宮城県の半翅目. 592pp.
247. 斎藤雄二, 1996. 山元町久保間の甲虫. インセクトマップオブ宮城5: 39-47.
248. 斎藤雄二, 2008. 宮城県レッドデータブック掲載種調査報告 その1. インセクトマップオブ宮城29: 1, 5-8.
249. 斎藤雄二, 2010. 石巻市長面(旧北上町)の蛾類の記録. インセクトマップオブ宮城32: 67.
250. 斎藤雄二, 2011. 宮城県レッドデータブック掲載種調査報告 その2 2004年~2010年の記録. インセクトマップオブ宮城35: 69-71.
251. 斎藤雄二・五十嵐由里, 2010. 栗原市のため池で採集した昆虫類. インセクトマップオブ宮城32: 109.
252. 桜谷鎮雄, 1982. オオイチモンジゲンゴロウの記録. 石巻昆虫同好会会報3: 15.
253. 桜谷鎮雄, 1986. 石巻地方の甲虫分布資料[1]. 石巻昆虫同好会連絡紙986 12: 2-8.

254. 桜谷鎮雄, 1987. 石巻地方の甲虫分布資料 [2]. 石巻昆虫同好会連絡紙986 13: 2-10.
255. 桜谷鎮雄, 1988. 石巻地方の甲虫分布資料 [3]. 石巻昆虫同好会連絡紙986 14: 6-13.
256. 桜谷靖雄, 1998. 宮城県でオオクワガタ雄を採集. みやぎ昆虫19: 43.
257. 桜谷靖雄, 1998. 宮城県でヤマトキモンハナカミキリを採集. 月刊むし332: 41.
258. 佐々木源市郎, 2009. 宮城県北部の採集記録. インセクトマップオブ宮城30: 54-57.
259. 佐藤敦・栗野宗博・神垣匡伸・中西秀明, 1998. 宮城県のカミキリムシ相について(上). 月刊むし323: 4-10.
260. 佐藤光一, 1989. 宮城県におけるネクイハムシの分布について. 栃木県立博物館研究紀要6: 43-48.
261. Sato, M., 1982. Discovery of *Torridincolidae* (Coleoptera) in Japan. *Annotationes Zoologicae Japonenses* 55(4): 276-283.
262. 佐藤隆志, 2011. 浜の瓢箪象・追想～宮城県の貴重な自然の記録として～. インセクトマップオブ宮城34: 3, 13-14.
263. 佐藤隆志, 2011. 宮城県亙理町にてニセハマヒョウタンゴムシダマシを採集. インセクトマップオブ宮城34: 100.
264. 佐藤嘉明, 1963. 宮城県北のトンボ. *Danburi* 4: 8-9.
265. 沢田佳久, 2008. 浜の瓢箪象. 月刊むし443: 37-42.
266. 関剛, 2004. 1980年代における角田・丸森地域のシジミチョウ採集記録(1)丸森町松ノ坊のウラジロドリシジミ. インセクトマップオブ宮城21: 1, 6-7.
267. 信夫禎, 1970. 久保田山における林床昆虫の生態学的研究. 宮城県教育研修センター長期研修員研究報告書: 33-42.
268. 白坂一広, 2002. 採集記録. インセクトマップオブ宮城17: 58-67.
269. 白坂一広, 2012. 宮城県の鳴く虫の記録. インセクトマップオブ宮城37: 24-25.
270. 白坂一広, 2012. 宮城県で確認した昆虫類の記録. インセクトマップオブ宮城37: 34-35.
271. 庄司大, 1984. 仙台市八木山東の昆虫 シリーズその4最終回. にらがみ38: 9-11.
272. 庄司大, 1985. 栗駒山採集記. にらがみ41: 7-8.
273. 庄司定克・穴戸勇, 1992. 伊豆沼・内沼の動物相(e)伊豆沼・内沼のプランクトンおよびベントス. 伊豆沼・内沼環境保全対策に関する報告書: 143-154, 宮城県.
274. 染谷保, 1980. 宮城県岩沼市のヒヌマイトトンボ. 昆虫と自然15(12): 30-31.
275. 染谷保, 1988. 宮城県のヒヌマイトトンボ. りばし12: 15-17.
276. 園部力雄, 1970. 金華山陸上生態系の構造解析-III 宮城県金華山島におけるバイト・トラップ法による糞虫の調査. 文部省科学研究費特定研究「生物圏の動態」陸上生態系における動物群集の調査と自然保護の研究 昭和44年度研究報告: 212-234, JIBP-CT-S.
277. 曾田貞彦・秋山耕治, 2012. 大学キャンパスの昆虫相(8) 京都大学吉田キャンパス. 昆虫と自然47(4): 20-23.
278. 菅原淳, 1976. 干蒲合同調査報告. にらがみ7: 8-14.
279. 鈴木健司, 1980. 作並でオオチャイロハナムグリ. にらがみ19: 9.
280. 鈴木晋一, 2009. 2004-2005年および2008年の蝶類採集記録. インセクトマップオブ宮城30: 57-61.
281. 鈴木晋一, 2009. 2009年の蝶類採集記録. インセクトマップオブ宮城31: 34-37.
282. 鈴木崇洋, 1993. 小野田町のチョウとトンボ. みやぎ昆虫15: 6-14.
283. 鈴木亙, 1998. 宮城県で採集されたハヤチネベニコモツキ. 甲虫ニュース122: 7.
284. 多田内修・村尾竜起(編), 2014. 日本産ハナバチ図鑑. 479pp. 文一総合出版.
285. 高橋忠二・阿部剛, 2011. 宮城県におけるウラジャノメの記録. インセクトマップオブ宮城34: 102.
286. 高橋忠二・阿部剛, 2012. 宮城県におけるカカラ3種の記録. インセクトマップオブ宮城36: 92.
287. 高橋誠一・羽田義任・田基正, 2009. 日本産ギングチバチ亜科の分布について. つねさばち16: 41-66.
288. 高橋義寛, 1978. 宮城県でゲンバイトンボを発見. みやぎ昆虫1: 28.
289. 高橋義寛, 1996. 絶滅した宮城のミヤマシジミ. みやぎ昆虫17: 6-16.
290. 高橋雄一, 1975. 仙台市南西部のトンボ相. *Coreana* 12: 10-13, みのくむしの会.
291. 高橋雄一, 1976. 流水域に生息するトンボ幼虫. にらがみ8: 8-10.
292. 高橋雄一, 1978. 仙台のこん虫. 247pp. 宝文堂.
293. 高橋雄一, 1979. ルリイトトンボ・ハッチョウトンボ県内の新産地. みやぎ昆虫2: 16.
294. 高橋雄一, 1980. ヒヌマイトトンボ生息地探訪. みやぎ昆虫3: 8.
295. 高橋雄一, 1982. 小牛田町の昆虫について. にらがみ26: 3-6.
296. 高橋雄一, 1987. 宮城県のカミキリムシについて. みやぎ昆虫9: 11-14.
297. 高橋雄一, 1987. 自然保護を考える(2)寒風沢島の自然. 東北の自然9: 6.
298. 高橋雄一, 1988. 宮城県のトンボ. 144pp. ぶなの木出版.
299. 高橋雄一, 1989. オオセズジイトンボの生活. みやぎ昆虫11: 29.
300. 高橋雄一, 1990. 仙台市太白区坪沼にハッチョウトンボの生息地. みやぎ昆虫12: 26.
301. 高橋雄一, 1991. 山元町の昆虫. みやぎ昆虫13: 19-29.
302. 高橋雄一, 1993. 県内初記録の2種. みやぎ昆虫15: 14.
303. 高橋雄一, 1995. 伊豆沼・内沼および周辺地域の昆虫. インセクトマップオブ宮城増刊号 伊豆沼・内沼および周辺地域の昆虫: 1-63.
304. 高橋雄一, 1996. 観察の森のヒメギフチョウについて. やどりが166: 5-10.
305. 高橋雄一, 1996. 宮城県のメスジゲンゴロウ. インセクトマップオブ宮城4: 37-38.
306. 高橋雄一, 1999. 観察の森のヒメギフチョウ, その後. インセクトマップオブ宮城 第8回東北昆虫フォーラム宮城大会記念号: 97-101.
307. 高橋雄一, 1999. 気仙沼大島の採集記録(1998年10月). インセクトマップオブ宮城10: 34.
308. 高橋雄一, 1999. 休耕田のハッチョウトンボ. インセクトマップオブ宮城11: 2, 25.
309. 高橋雄一, 1999. 斗蔵山及び周辺地域の昆虫. 斗蔵山周辺自然環境調査報告書: 258-330, 角田市教育委員会.
310. 高橋雄一, 2001. 理科作品展で見られた注目すべき種の記録. インセクトマップオブ宮城15: 49.
311. 高橋雄一, 2002. 四半世紀前の記録 その3 南蔵王オリンピックでの採集昆虫類. インセクトマップオブ宮城17: 35-42.
312. 高橋雄一, 2002. 仙台湾浜海浜自然環境保全地域の昆虫相. 仙台湾浜海浜自然環境保全地域学術調査報告書: 67-95, 宮城県.
313. 高橋雄一, 2003. 四半世紀前の記録 その4 白石市小原新湯での採集昆虫類. インセクトマップオブ宮城18: 69-73.
314. 高橋雄一, 2009. 新策川での記録. インセクトマップオブ宮城31: 42.
315. 高橋雄一, 2011. 亙理町・高村俊雄の昆虫スケッチ. インセクトマップオブ宮城35: 2, 47-57.
316. 高橋雄一, 2011. ヒメサナエの気仙沼での記録. インセクトマップオブ宮城35: 97.
317. 高橋雄一, 2012. マダラヤンマの採集例. インセクトマップオブ宮城37: 51.
318. 高橋雄一, 2015. メスジゲンゴロウ栗駒山系の記録. インセクトマップオブ宮城42: 95.

319. 高橋雄一, 2015. ツトンボの古い記録. *インセクトマップオブ宮城*42: 97.
320. 高橋雄一・五十嵐由里, 2011. 商人沼自然環境保全地域候補地の昆虫相. 商人沼自然環境保全地域候補地学術調査報告書: 73-109, 宮城県.
321. 高橋雄一・五十嵐由里, 2014. 宮城県岩沼市の昆虫調査報告3. *インセクトマップオブ宮城*40: 23-34.
322. 高橋雄一・五十嵐由里・斎藤勝雄, 2009. 荒沢沼自然環境保全地域候補地の昆虫. 荒沢沼自然環境保全地域候補地学術調査報告書: 161-231, 宮城県.
323. 高橋雄一・高橋義寛, 1994. 広瀬川流域の昆虫類. *広瀬川流域の自然環境*: 575-700, 仙台市環境局.
324. 高橋雄一・高橋義寛・郷右近勝夫, 1991. 宮城の昆虫. 223pp. 河北新報社.
325. 高橋雄一・斎藤勝雄, 1999. 鱒淵観音堂自然環境保全地域の昆虫相. 鱒淵観音堂自然環境補選地域学術調査報告書: 69-137, 宮城県.
326. 高橋雄一・斎藤勝雄, 2000. 丸田沢緑地環境保全地域の昆虫相. 丸田沢緑地環境保全地域学術調査報告書: 79-125, 宮城県.
327. 高橋雄一・斎藤勝雄・五十嵐由里, 2012. 宮城県岩沼市の昆虫調査報告1. *インセクトマップオブ宮城*36: 22-53.
328. 高橋雄一・斎藤勝雄・五十嵐由里, 2013. 宮城県岩沼市の昆虫調査報告2. *インセクトマップオブ宮城*38: 1, 11-36.
329. 高嶋清明, 2011. 宮城県山元町で見た震災後の昆虫たち. *月刊むし*489: 18-21.
330. 武田文昭, 2000. 阿武隈山地におけるクワガタムシ3種. *月刊むし*354: 43-44.
331. 寺山守, 2008. 日本産有剣蜂膜翅類検索表9 グングチバチ科 (Crabronidae) ケラトリバチ亜科 (Larrinae) ケラトリバチ族 (Larrini) の種の検索. *つねきばち*14: 1-22.
332. 寺山守・郷右近勝夫, 2012. 日本産有剣蜂膜翅類検索表10 アリマキバチ亜科 (Pemphredoninae) ヨコバイバチ族 (Psenini) の種の検索. *つねきばち*20: 1-36.
333. Tsuneki, K., 1983. A new species of *Psen* (*Psen*) found in Japan (Hymenoptera, Sphecidae, Pemphredoninae). *Special Publications of the Japan Hymenopterists Association* 25: 63-65.
334. 梅津晋, 1960. 宮城県産クワガタムシ科ハンミョウ科概観. *IZUMI* 13: 9-11.
335. 梅津晋, 2010. 宮城県版RDB掲載甲虫類の採集記録. *インセクトマップオブ宮城*32: 58-59.
336. 梅津晋・山田健斗, 2010. 仙台市のオオイチモンジシマゲンゴロウの新生息地. *インセクトマップオブ宮城*33: 94.
337. 梅津晋・山田健斗, 2011. 宮城県の水生昆虫の観察・採集記録. *インセクトマップオブ宮城*34: 79-83.
338. 梅津晋・山田健斗, 2011. 宮城県産希少甲虫類の2010年の記録. *インセクトマップオブ宮城*34: 84-85.
339. 渡辺啓子, 2012. 2010-2011年の昆虫採集記録. *インセクトマップオブ宮城*37: 1-7.
340. 渡辺徳, 1973. 宮城県昆虫誌 宮城県の鱗翅類. 358pp. 日本蛾類学会.
341. 渡部徳, 1989. 宮城県の甲虫. 365pp. 日本鞘翅学会.
342. 八木沼康之, 2009. 蝶類採集記録(2009年4月~7月). *インセクトマップオブ宮城*31: 33.
343. 山田雅輝, 1997. 青森県の有剣蜂科3ドロバチ科・スズメバチ科の分布補遺. *Celastrina* 32: 37-46.
344. 山路賀藤次, 1935. 宮城県加美郡色麻村産甲蟲類. *昆虫界*15: 176-189.
345. 山路賀藤次, 1936. 舟形山採集雑記. *昆虫界*34: 891-892.
346. 山本弘, 1973. 伊豆沼・内沼周辺の顕著な昆虫等の調査報告. 日本自然保護協会調査報告49 伊豆沼湖沼群学術調査報告書: 52-63, 日本自然保護協会.
347. Yamane, S., 1990. A revision of Japanese Eumenidae (Hymenoptera, Vespoidea). *Insecta Matsumurana. Series Entomology. New series* 43: 1-189.
348. 山下善平・中根猛彦・石井孝, 1967. 1966年宮城県金華山島におけるライト・トラップによる昆虫調査の結果とその考察. 文部省科学研究費特定研究「生物圏の動態」各種陸上生態系における二次生産構造の比較研究 昭和41年度研究報告書: 79-105, JIBP-CT-S.
349. 山内東, 2010. 宮城県におけるマルタンヤンマの初採集記録. *月刊むし*478: 21.
350. 山谷文仁, 1989. マークオサムシ. 東日本のオサムシ地域の特徴をつなぎ合わせる一: 61-71, 東日本オサムシ研究会.
351. 山谷文仁, 1989. 採集記録表(アカガネオサムシ). *オサムシマップ*40: 116-121, 東日本オサムシ研究会.
352. 山谷文仁, 1989. 調査地点と地点図 種別地点表. *オサムシマップ*40: 6-112, 東日本オサムシ研究会.
353. 山谷文仁・草刈広一, 1990. 上杉博物館館蔵昆虫目録(1) 甲虫目(水生甲虫類). *ファウナ・ウキタム*1: 2-9.
354. 山谷文仁・草刈広一, 1991. 上杉博物館館蔵昆虫目録(15) 甲虫目(ツチハンミョウ科). *ファウナ・ウキタム*14: 90-91.
355. 山谷文仁・草刈広一, 1995. 上杉博物館館蔵昆虫目録(41) 甲虫目(食糞性コガネムシ類). *ファウナ・ウキタム*42: 320-326.
356. 山谷文仁・草刈広一, 1996. 上杉博物館館蔵昆虫目録(59) 甲虫目(コメツキムシ科②). *ファウナ・ウキタム*52: 415-422.
357. 柳田則明, 1999. カトリヤンマの採集記録. *インセクトマップオブ宮城*11: 44.
358. 柳田則明, 2000. タガメの記録. *インセクトマップオブ宮城*13: 35.
359. 柳田則明, 2000. カトリヤンマの追加記録. *インセクトマップオブ宮城*13: 36.
360. 柳田則明, 2005. サラサヤンマとオオトラフンボの新産地. *インセクトマップオブ宮城*23: 36.
361. 柳田則明, 2008. 宮城県内におけるRDB掲載種の採集記録. *インセクトマップオブ宮城*28: 6-10.
362. 柳田則明, 2009. 宮城県内におけるRDB掲載種の採集記録(2008年10月~2009年9月). *インセクトマップオブ宮城*31: 20-22.
363. 柳田則明, 2010. 宮城県における蛾類の記録(2009年). *インセクトマップオブ宮城*32: 45-57.
364. 柳田則明, 2010. 三陸自動車道矢本パーキングエリアにおける蛾類の記録(2009年5月~2010年3月). *インセクトマップオブ宮城*32: 79-90.
365. 柳田則明, 2010. 宮城県内におけるRDB掲載種の記録(2009年10月~2010年9月). *インセクトマップオブ宮城*33: 19-24.
366. 柳田則明, 2010. 山形自動車道古関パーキングエリアにおける蛾類の記録(2009年). *インセクトマップオブ宮城*32: 68-78.
367. 柳田則明, 2011. 角田市斗蔵山における蛾類の記録(2010年3月~2011年3月). *インセクトマップオブ宮城*34: 53-78.
368. 柳田則明, 2011. 宮城県内における宮城県版RDB掲載種等の記録. *インセクトマップオブ宮城*34: 86-89.
369. 柳田則明, 2011. ヒメクロホウジャクを仙台市で6月に採集. *インセクトマップオブ宮城*35: 99.
370. 柳田則明, 2012. 宮城県における蛾類の宮城県版RDB掲載種の記録(~2012年3月). *インセクトマップオブ宮城*36: 65-66.
371. 柳田則明, 2013. 宮城県におけるアオヤンマ. 県南部地域2カ所目の記録. *インセクトマップオブ宮城*39: 47.
372. 柳田則明, 2014. 宮城県におけるトンボの市区町村未記録種の記録. *インセクトマップオブ宮城*40: 37-41.
373. 柳田則明, 2014. 宮城県レッドリスト2013年版に掲載されたトンボの東日本大震災以降の記録. *インセクトマップオブ宮城*40: 54-55.
374. 柳田則明, 2014. 東日本大震災による大津波浸水域における2014年のトンボの調査結果. *インセクトマップオブ宮城*41: 23-37.
375. 柳田則明, 2014. 宮城県におけるトラフンボ. オオトラフンボの新産地を含む記録. *インセクトマップオブ宮城*41: 81.
376. 柳田則明, 2014. 宮城県におけるエソトンボの新産地での記録など. *インセクトマップオブ宮城*41: 82.
377. 柳田則明・斎藤勝雄. 蛾類目録編集委員会, 2009. 宮城県蛾類目録. 416pp..
378. 吉越肇, 1987. 仙台北西丘陵の甲虫相一荒巻の山の回顧録. *東北の自然*10: 3-17.

379. 吉武啓, 1998. 宮城県初記録のクロツヤハマベゾウムシ. 甲虫ニュース124: 15.
380. 青木俊彦, 2001. 2000年に宮城県北部で採集した興味ある蛾数種. インセクトマップオブ宮城14: 1-3.
381. 青木俊彦, 2004. 宮城県北部栗原郡の蛾類(2). インセクトマップオブ宮城20: 35-50.
382. 岩崎史郎, 1992. 宮城県未記録の蛾(第4報). 誘蛾燈127: 17-21.
383. 岩崎史郎・梅津一史, 1988. 宮城県未記録の蛾(第3報). 誘蛾燈112: 61-67.
384. 中塩一夫, 1995. 宮城県におけるタカオキリガの記録. 誘蛾燈138: 10.
385. 中塩一夫, 2004. 宮城県北部で採集された注目すべき蛾類. インセクトマップオブ宮城20: 51-52.
386. 小野泰正, 1966. 水銀灯屋外照明に飛来する数種の昆虫個体群の季節的消長(昆虫自然個体群の活動に関する研究II). 宮城県農業短期大学 学術報告13: 29-36.
387. 小野泰正, 1983. IV 栗駒国定公園の動物 6昆虫類. 栗駒国定公園及び県立自然公園旭山学術調査報告書: 74-90, 宮城県.
388. 小野泰正・田島幸次郎, 1973. 動物. 宮城県動植物分布状況調査報告書: 87-128, 宮城県.
389. 斎藤勝雄, 1996. 宮城県および山形県でキバラヒトリを採集. インセクトマップオブ宮城4: 61.
390. 斎藤勝雄, 1996. 山元町久保間で採集した蛾類. インセクトマップオブ宮城5: 34-38.
391. 斎藤勝雄, 1999. フタスジギンエダジャクの採集例. インセクトマップオブ宮城10: 40.
392. 斎藤勝雄, 1999. 宮城県産蛾類目録I シャクガ科. インセクトマップオブ宮城 第8回東北インセクトフォーラム宮城大会記念号: 48-65.
393. 斎藤勝雄, 2003. 宮城県南部で採集した注目すべき蛾類(前). インセクトマップオブ宮城19: 41-55.
394. 斎藤勝雄, 2004. 宮城県南部で採集した注目すべき蛾類(追加). インセクトマップオブ宮城20: 90-92.
395. 斎藤雄二・斎藤勝雄, 2000. 東北インセクトフォーラム宮城大会で得られた注目される昆虫2種. インセクトマップオブ宮城12: 36.
396. 櫻谷鎮雄・櫻谷靖雄, 1994. 硯上山万石浦県立自然公園の昆虫相. 硯上山・万石浦県立自然公園学術調査報告書: 227-253, 宮城県.
397. 桜谷保之, 1973. 宮城県石巻市のガ類(2). インセクト24(2): 1-18.
398. 佐藤英寿, 2015. 仙台市秋保町二口温泉における灯火採集. インセクトマップオブ宮城42: 20-25.
399. 菅原淳, 1976. 大河原のカタカラ. にらがみ11: 8-11.
400. 鈴木健司, 1973. 私のカタカラ日記. にらがみ3: 6-9.
401. 鈴木健司, 1978. 県南地方のカタカラ. みやぎインセクト1: 17-28.
402. 鈴木健司, 1998. 宮城県蔵王山麓のフタスジギンエダジャク. インセクトマップオブ宮城8: 24-27.
403. 田島幸次郎・渡辺 徳, 1964. 仙台市並びに周辺の蛾類数種. 蝶と蛾15(1): 22-24.
404. 高橋雄一, 1998. 斗蔵山県立自然環境保全地域の昆虫相. 斗蔵山県立自然環境保全地域学術調査報告書: 65-132, 宮城県.
405. 高橋雄一, 2001. イブキスズメの古い記録. インセクトマップオブ宮城15: 54.
406. 高橋雄一, 2002. 四半世紀前の記録 その2 宮城県牡鹿町網地島での採集昆虫類. インセクトマップオブ宮城17: 25-34.
407. 梅津一史・岩崎史郎, 1985. 宮城県未記録のヤガヒシャチホコガ. 誘蛾燈101: 125-127.
408. 梅津一史, 2003. 宮城県内で採集した蛾類. インセクトマップオブ宮城18: 55-56.
409. 渡辺一生, 1983. 記録報告'82. にらがみ28: 3-8.
410. 渡辺 徳, 1964. 宮城県産蛾類通信(I). 東北昆虫研究1(3): 71-73.
411. 渡辺義汎, 1993. 「宮城県の鱗翅類」の追加種. 誘蛾燈134: 101-113.
412. 山下善平・中根猛彦・石井孝, 1967. 1966年宮城県金華山島におけるライト・トラップによる昆虫調査の結果とその考察. 文部省科学研究費特定研究「生物圏の動態」各種陸上生態系における二次生産構造の比較研究 昭和41年度研究報告書: 79-105, JIBP-CT-S.
413. 柳田則明, 1997. 仙台市および隣接市町で採集した蛾の注目種. みやぎインセクト18: 26-32.
414. 阿部剛, 2001. 採集記録. インセクトマップオブ宮城14: 31-36.
415. 阿部剛・五十嵐由里・斎藤雄二, 2015. 宮城県加美町宮崎で確認した昆虫類. インセクトマップオブ宮城43: 51.
416. 新井孝明, 2015. アイヌコブスジコガネの採集例. インセクトマップオブ宮城43: 46.
417. 栗野宗博, 2015. ミスジナガクチキが集まる倒木. インセクトマップオブ宮城43: 50-51.
418. 児玉雅一, 2015. シラフヒョウタンゾウムシの南限記録. インセクトマップオブ宮城43: 43-44.
419. 紺野広昭, 2015. ルイスツブゲンゴロウの採集記録. インセクトマップオブ宮城43: 45.
420. 成田正弘, 2015. 宮城県大崎市鬼首にてFITで得られたゾウムシ類. インセクトマップオブ宮城43: 1-7.
421. 野村周平, 1997. 宮城県におけるニセルイスツブゲンゴロウの記録. 月刊むし322: 15.
422. 斎藤勝雄, 2015. 宮城県北部海岸地域におけるツヤハマベゾウムシ類の記録. インセクトマップオブ宮城43: 43.
423. 斎藤勝雄, 2015. 宮城県南部におけるRDB掲載種2種の記録. インセクトマップオブ宮城43: 45.
424. 佐藤敦, 2005. 宮城県産オオキノコムシ類の最近の記録—第1報—. InsecTOHOKU 12: 4-5.
425. 佐藤福男, 1996. 秋田県で採集したツブゲンゴロウ属の日本未記録種. 月刊むし307: 22-23.

なお、和名や学名、種の配列は、上記のほか以下の文献に準拠した。

- 尾園暁・川島逸郎・二橋亮, 2012. ネイチャーガイド 日本のトンボ. 531pp., 文一総合出版.
- 日本昆虫目録編集委員会(編), 2013. 日本昆虫目録第7巻鱗翅目(第1号セリチョウ上科—アゲハチョウ上科). 119pp., 日本昆虫学会.
- 白水隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 336pp., 学習研究社.
- 広渡俊哉・那須義次・坂巻祥孝・岸田泰則(編), 2013. 日本産蛾類標準図鑑III. 359pp., 学研教育出版.
- 那須義次・広渡俊哉・岸田泰則(編), 2013. 日本産蛾類標準図鑑IV. 551pp., 学研教育出版.
- 山根正気・幾留秀一・寺山守, 1999. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 872pp., 北海道大学図書刊行会.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝(編著), 1985. 原色日本甲虫図鑑II. 514pp., 保育社.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之(編著), 1985. 原色日本甲虫図鑑III. 500pp., 保育社.
- 林匡夫・森本桂・木元新作(編著), 1984. 原色日本甲虫図鑑IV. 438pp., 保育社.
- 森正人・北山昭, 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 231pp., 文一総合出版.
- 大林延夫・新里達也(編), 2007. 日本産カミキリムシ. 880pp., 東海大出版会.
- 平嶋義宏(監修), 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター(編), 1989. 日本産昆虫総目録. 1767pp., 九州大学農学部昆虫学教室.